

大船渡・吉浜  
白木沢さん

## 自家避難苦惱深く



いつまで続くか分からない停電生活を協力して乗り越えようと誓い合う(左から)白木沢利平さん、シャーリーさん、秀則さん、カメヨさん=29日午後6時40分、大船渡市三陸町吉浜

20日たった今も停電が続く。生活道路は津波で寸断され固定電話や携帯電話もつながらない。避難所生活も送った林業

生活を運んだ。白木沢さん宅で生活と共に在宅の理由や苦

悩を聞かせてもらった。

利治さんは自宅で

施設は津波で被災し

始めた。

2004年に脳梗塞を患つた。デイサービスでは、体温や血压

測定をしてもらつてい

たが地震後は、測定の

機会もなく健康不安が

募る。

作業仲間が白木沢さ

ん以外は「災害弱者」

と暮らす。シ

ヤーリーさんは日本語

に不安があり、秀則さ

ん以外は「災害弱者」

とされる。

29日前10時、居間

に通された。練炭にて

、市から配達される

火道があり食事はガス

で米を炊き、みそ汁も

作れる。電気のない生

活。白木沢さん一家は

長くその状態が続い

た。

自宅に戻る人が

多い増館地区では数日

前から発電機を確保、

ボイラーや洗濯機を一

軒三転しているなど

の点を総合的に検討

し、有罪と認定した。

裁判員裁判への言及は

転て、「缶に違

かなかった」

と述べた。

裁判員裁判で初の

逆転有罪

だと認めるのが相当

だ。

裁判員裁判の無罪

覆す

と述べた。

裁判員裁判で初の

逆転有罪

だと認めるのが相当

だ。

裁判員裁判の無罪